

## 10時35分

「そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター」にて日本遺産「炭鉄港」についての講義

岩見沢駅から徒歩2分ほどのところにある「そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター」へ移動。札幌軟石で造られているこの石蔵は、明治42年に建てられたものだそう。

こちらでは、日本遺産「炭鉄港」とはどういうものかということから始まり、室蘭線の歴史などを平野さんにお話しいただきました。

採炭が最盛期だった頃やかつての追分駅のお話になると「懐かしいね」「SLにはよく乗っていたな」と当時を思い出されていたようです。また「普段乗っていた室蘭線が石炭輸送になくはならないもので重要だったことがよくわかった」「日本遺産『炭鉄港』をきっかけに安平町にも多くの人が訪れてほしい」と話されていました。



## 11時45分 簡単駅ガイド②、休憩



再び岩見沢駅に戻り、駅ガイドの再開です。

駅を挟んで南北に架けられている「有明連絡歩道橋」。ガラス張りなので、駅構内や周辺の様子がよく見えます。自転車を押して通行することもあって幅が広く、とても開放感がありました。

突き当たりの展望スペースから日本遺産「炭鉄港」の構成文化財となっている「旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場（岩見沢レールセンター）」を見学。明治39年に建てられ、かつては北海道最大の総合鉄道工場でした。社章の星印が建物に残っているのが見えます。

北海道の発展に大きく関与した薩摩藩のお話などもあり、北海道の歴史と「炭鉄港」の繋がりについても学ぶことができました。

## 12時45分 岩見沢駅出発 → 13時46分 早来駅到着

列車の時間まで、各々買い物や休憩。平野さんにお見送りをしていただき、再び列車に乗り込んで早来駅へと戻ります。「なかなか来ることのない岩見沢で、見て聞いて、みんなでおしゃべりしながら旅ができてよかった」と参加された方も大満足の旅行となったようです。

他にも、ウポポイや栗山温泉などの活用事例もあります。助成金についてのご相談は、政策推進課 政策推進グループ（☎② 2751）へお問い合わせください。